

「演習林試験研究年報」の発刊に寄せて

1997年度で、京都大学農学部3年間にわたる大学院重点化への改組が完了し、3学部6専攻へと研究教育の組織が一新され活動が開始されることになりました。農学部附属演習林の研究組織も、本改組により森林科学専攻の協力講座として研究教育における大きな役割を担うことになりました。

このような状況の中で、演習林を利用した研究教育への要望と期待は益々強まり、演習林では森林の一層の整備と設備の充実に向け努力を続けております。同時に演習林における森林研究や森林の整備状況などに関する広報も、その対象範囲を従来より広げ、学内外の森林研究や教育に関わる多くの人々や関係機関に知っていただく必要があります。

演習林の出版物は、演習林報告、演習林集報、演研、演習林年報を毎年出版し、気象年報を5年毎に出版してきました。今回これらの出版物を見直し、1997年度より、演習林集報、演研、演習林年報をとりまとめて「演習林試験研究年報」として毎年出版することになりました。

なお、演習林報告と気象年報は従来どおりの出版を続けます。

「演習林試験研究年報」は、演習林の研究教育活動や、森林研究に関する話題、森林整備、管理の状況など、演習林の現況の最も新しい情報を提供し、森林に関する研究教育関係者や、関係機関の方々の演習林へのご理解を一層深めていただくことを目標に、より充実した内容にするべく努力いたしますので、ご批判やご意見をお寄せいただければ幸甚に存じます。

1998年1月

京都大学農学部附属演習林

林長 川那辺 三郎